

第二講座通信講座解答

医薬品に共通する特性と基本的な知識

問1. 3

HIV 訴訟では、薬事行政組織の再編、情報公開の推進、健康危機管理体制の確率等がなされた。

CJD 訴訟では、生物由来製品による感染等被害救済制度の創設等がなされた。
(500)

問2. 3

サリドマイドのR体とS体は相互に転換するために、R体のサリドマイドを分離して製剤化しても催奇形性は避けられない。(523)

問3. 3

a. 一般生活者に理解してもらえるよう専門用語を平易な表現で説明することが大切である

d. 症状などがある場合には、その人の状態や様子全般から得られる情報も状況把握につながる重要な手掛かりとなり、それを踏まえて情報提供をおこなうべきである(626)

問4. 1

1. 胎盤関門によって、どの程度医薬品の成分の胎児への移行が防御されるかは未解明のことが少なくない(644)

問5. 5

医薬品は、高い水準で均一な品質が保証されていなければならないが、配合されている成分には、高温や多湿、光等によって品質の劣化を起こしやすい物が多い(650)

問6. 4

b. ビタミンA含有製剤の説明である

c. 便秘薬の場合流産や早産を誘発するおそれがある

d. 「相談すること」となっているものが多いが、すべてではない(668)

問7. 2

その他、医薬品の成分が脳に達しやすいため、中枢神経系に影響を与える医薬品で副作用を起こしやすい。(674)

問8. 2

2. セルフメディケーションの主役は一般の生活者である。販売等に従事する専門家はその支援を行う。(692)

問9. 1

一般医薬品は、一般の生活者が自ら選択し、使用するものであるが、一般の生活者においては、添付文書や製品表示に記載された内容だけをみただけでは、効能効果や副作用などについて誤解や認識不足を生じることもある。(704)

問10. 5

- a. 軽医療の分野で使用されるものである
- c. 情報提供は必ずしも医薬品の販売に結び付けるものではない
- d. 症状が重い時、一般用医薬品を使用することは、一般用医薬品の役割にかんがみて、適切な対処とは言えない(710)

問11. 2

2. 主観的な変化だけでなく、客観的に測定可能な変化として現れることもある(716)

問12. 3

- b. どの程度医薬品の成分の胎児への移行が防御されるかは、未解明のことが少なくない
- c. ビタミン A の説明である (722)

問13. 4

- c. 定められた用量を意図的に超えて服用することは望ましくない
- d. 本来以外の意図で服用することは望ましくない(728)

問14. 5

- a. 複数の医薬品を併用した場合に医薬品の作用が増強したり、減弱したりすることを相互作用という
- b. 吸収増大による精神神経系障害が生じる
- d. 診療を行った医師若しくは歯科医師又は調剤した薬剤師に相談するよう説明がなさせるべきである(734)

問15. 2

- a. セルフメディケーションの主役たる生活者と医薬品の販売に従事する専門家との共同作業である(752)

人体の働きと医薬品

問16. 5

- a. ビタミンやミネラルなど、受容体を介さずに全身作用をもたらすものもある
- b. 複合体を形成した状態では受容体には結合できない
- c. 年齢や体格などによる個人差も考慮されている
- d. 最小有効濃度を超えた時に薬効がもたらされる。(615)

問17. 2

- 2. 角膜に酸素や栄養を供給する。(621)

問18. 4

その他錠剤、トローチ、ドロップ、散剤、錠剤、内服液、シロップ剤、カプセル剤、噴霧剤などがある。(627)

問19. 2

- b. においに対する感覚は非常に鋭敏であるが順応を起こしやすく、長時間同じにおいを嗅いでいると次第にそのにおいを感じなくなる
- c. 鼻腔の粘膜に炎症を起こして腫れた状態を鼻炎という(633)

問20. 3

毛母細胞では細胞分裂が盛んに行われ、次々に分裂してできる新しい細胞が押し上げられ、次第に角化して毛を形成していく。(639)

問21. 4

血液は血漿と血球に分かれ、血球には赤血球や白血球血小板等がある。(645)

問22. 2

- 2. 症状は急性に現れる

問23. 2

副作用についても全身作用によるものと局所作用によるものがある。(654)

問24. 1

- a. 代謝や解毒を行うのは肝臓である
- c. 動脈は静脈よりも厚く、弾力性がる(633)

問25. 2

- b. 局所作用を目的とする医薬品によって全身性の副作用を生じることがある
- c. 咽頭粘膜ではほとんど吸収されない(675)

問26. 3

b.糞便が黒くなるなどの症状を生じる。(681)

問27. 5

5. 人には皮膚呼吸をする機能は備わっていない。(687)

問28. 5

a.一生を通して破壊と吸収が行われる

b.骨格内に内臓を収め、保護する

c.無機質は骨に硬さを与え、有機質は強靱さを与える(693)

問29. 4

a.リンパ系は、血管系とは半ば独立した循環系として存在している

b.リンパ液は骨格筋の収縮によって流れている

d.逆流防止の弁が存在する(699)

問30. 2

2. 副交感神経の伝達物質はアセチルコリンである。ただし、汗腺を支配する交感神経線維の末端では、例外的にアセチルコリンが伝達物質として放出される(711)

問31. 4

a. 副腎皮質からのアルドステロン分泌が増えていないにも関わらず生じるため、偽アルドステロン症と呼ばれる(717)

b.ビリルビン（胆汁色素）が胆汁中へ排出されず血液中に滞留しておこる症状

問32. 4

1. 90%以上水分からなり、アルブミン、グロブリン等の蛋白質のほか、微量の脂質、糖質、電解質を含む(723)

2. 体内に侵入した細菌やウイルス等の異物に対する防御を受け持つ細胞

3. 血管からの血液の流出を抑える仕組みにおいて重要な役割を担っている

問33. 1

a.二酸化炭素は呼吸器から排出され、汗からも老廃物が排出されたりと、泌尿器系以外からも老廃物の排出が行われる(729)

問34. 3

b.アナフィラキシーと同様の症状が現れ、その対応における違いはない

c.アナフィラキシーが起こるリスクは高いとされている(735)

問35. 1

- a.透明な角膜や水晶体には血管は通っていない
- b.起きている間は絶えず分泌され、睡眠中の分泌はほとんどない(741)

主な医薬品とその作用

問36. 2

- 1. 患部の蛋白質と結合して皮膜を形成し、皮膚を保護する作用を示す。
- 3. 組織の修復を促す作用を期待して配合される
- 4. 患部局部の血行を促すことを目的としている(174)

問37. 3

うおのめは鶏眼、たこは胼胝（べんち）とも呼ばれる（176）

問38. 4

- b.頭部白癬は小児に多く、清浄に保てば自然治癒することが多いが、炎症が著しい場合は医師の診療を受けることが望ましい
- c.趾間型の説明である(180)

問39. 1

- 1. 歯周病は症状が軽いうちは自己治癒が可能とされる。(186)

問40. 4

- a.興奮でなくリラックス効果をもたらす。
- b.ゆっくりと断続的にかむこととされている
- d.使用期間は3ヶ月を目途とし、6ヶ月を超える使用は避けることとされている(190)

問41. 2

- 1. 夜間視力の維持や、皮膚や粘膜の機能を正常に保つ
- 3. 体内の脂肪を酸化から守り、細胞の活動を助ける
- 4. 脂質の代謝に関与し、皮膚や粘膜の機能を正常に保つ
- 5. 赤血球の形成を助け、神経機能を正常に保つ(192)

問42. 3

ビタミン成分等は、多く摂取したからといって適用となっている症状の改善が早まるものではなく、むしろ脂溶性ビタミンでは、過剰摂取により過剰症を生

じるおそれがある。(195)

問43. 1

- 2. まれに重篤な副作用として、間質性肺炎、肝機能障害を生じることが知られている
- 3. 生後3ヶ月未満の乳児には使用しないこととされている
- 4. 古来中国から伝わり、日本で発展してきた医学が漢方医学である。(199)

問44. 1

- a.殺菌・消毒とは、生存する微生物の数を減らすために行われる処置である
- c.手指・皮膚の消毒のほか、器具等の殺菌・消毒に用いられる
- d.ウイルスにも殺菌消毒作用を示す。(202)

問45. 2

- b.蚊は日本脳炎、マラリア、黄熱、テング熱を媒介し、ゴキブリはサルモネラ菌、ブドウ球菌、腸炎ビブリオ菌、ボツリヌス菌、O-157大腸菌などを媒介する。(206)

問46. 1

- 1. 1日1回の使用限度である。2歳以上12歳未満は1日1～3回。(209)

問47. 3

- 一般用検査薬は、一般の生活者が日常において自らの体調をチェックすることを目的とするものである。(210)

問48. 3

- b.c.一時的な症状なら一般用医薬品で対処することができる。(261)

問49. 5

- a.センナ、センノシド、ダイオウ、カサントラノールについては乳汁中に移行することが知られている
- b.センノシドは胃や小腸で消化されない
- c.ピサコジルの説明である(262)

問50. 4

- a.気管支喘息ではなく、間質性肺炎の副作用が現れる怖れが高まるとされている。
- c.桂枝湯の説明
- d.小青龍湯の説明(267)

問51. 5

- a.アセトアミノフェンはサリチル酸系ではない
- b.15 歳未満の小児に対して使用してはいけないこととなっている
- d.血液を凝固させにくくする作用があるため、血栓予防薬に用いられる(268)

問52. 3

- a.ビタミンB12 はシアノコバラミンや塩酸ヒドロキシコバラミンとして配合される
- b.ビタミンB1 は塩酸チアミン、塩酸フルスルチアミンなどとして配合される
- c.ビタミンCはアスコルビン酸、アスコルビン酸ナトリウムとして配合される
- d.ビタミンDはエルゴカルシフェロール、コレカルシフェロールとして配合される(273)

問53. 2

- 2. 非ステロイド性抗炎症成分(274)

問54. 3

- a.鎮痛効果を高める効果を期待して配合されている
- b.アセトアミノフェン、カフェイン、エテンザミドがACE処方である。(279)

問55. 4

ジャコウはジャコウジカまたはその近縁動物のジャコウ腺分泌物を乾燥したもので、強心作用のほか、呼吸中枢を刺激して呼吸機能を高めたりする。
レイヨウカクはサイガレイヨウの若い角を用いた生薬で、緊張や興奮を鎮める作用などを期待して用いられる。(280)

問56. 3

- a.正常に働いていれば、蛋白質は腎臓の尿細管においてほとんどが再吸収される。
- b.検出感度を鋭敏にすると、非特異的な反応が起こりやすくなり擬陽性を生じやすくなる。(286)

問57. 2

- 2. 抗コリン作用で起こる副作用は下痢ではなく便秘である。(292)

問58. 2

- 2. 高血圧に伴う諸症状に用いられる(297)

問59. 1

1. 細菌のタンパク質合成を阻害することにより抗菌作用を示す。サルファ剤は最近のDNA合成を阻害することにより抗菌作用を示す。(298)

問60. 2

胃液抑制成分を含有する胃腸薬では、胃腸鎮痛鎮痙薬、乗り物酔い薬との併用を避ける必要がある。

c.副交感神経の伝達物質はアセチルコリン。交感神経では節前繊維はアセチルコリンだが、節後繊維はノルアドレナリンである。(303)

問61. 3

b.メキタジンは抗ヒスタミン作用によりくしゃみや鼻水を抑制する

c.炎症部分に溜まるフィブリンというタンパク質を溶かすことで抗炎症作用を示す。(304)

問62. 3

3. 防風通聖散（ぼうふうつうしょうさん）は最近肥満の漢方薬として知られているが、日本人は基本的に虚証が多いため、適応する症状は少ない。(309)

問63. 2

1. 発汗、解熱、鎮痛等の作用を期待して用いられる

3. 鎮痛、鎮静、抗炎症等の作用を期待して用いられる

4. 利尿、鎮咳、去痰の目的で、泌尿器系疾患に用いられる。(310)

問64. 2

a.高カルシウム血症の過剰症が知られている

b.過剰症はないが、亜鉛の摂りすぎは銅の吸収阻害を起こし、銅欠乏症を起こす怖れがある

d.妊婦のビタミンAの摂りすぎで胎児の先天異常が起こる怖れがある

e.β-カロテンは体内に入ると、必要な分だけがビタミンAに転換されるためビタミンAの過剰摂取にはつながらない(316)

問65. 1

b.全く反対。コリンエステラーゼを抑制し、アセチルコリンを助けることで目の調節機能を改善する(315)

薬事関係法規・制度

問66. 4

- a. その効能効果が予め定められた範囲内で認められている
- b. 品目ごとに承認を得る必要がある
- c. 「人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌を変え、又は皮膚若しくは、毛髪を健やかに保つ」の範囲内においてのみ、効果を表示・標榜することが認められている
- d. 医薬品のように品目ごとの承認を得る必要はない。(486)

問67. 2

- a. 健康増進法に基づくものである
- b. 誤った認識を生じるおそれはないものとされている
- d. 消費者庁の許可を取得することが必要である(510)

問68. 1

- 1. 明示的暗示的にかかわらず医薬部外品は定められた範囲外の効能効果を示すことはできない(642)

問69. 4

- a. 薬剤師がいなければ第一類医薬品を販売することができない
- b. 薬剤師がいなければ医療用医薬品を調剤することができない(648)

問70. 5

薬局開設者、店舗販売業者又は配置販売業者は、一般用医薬品を販売又は授与する場合には、その分類されたリスク区分に応じて、医薬品販売に従事する薬剤師又は登録販売者をして、購入者に対して、適正な使用のために必要な情報を提供させなければならないとされている(660)

問71. 1

- 1. 容器などへの記載が、外部の容器又は被包を透かして容易に見ることができない時は、その外箱等にも同様の記載がされていなければならない(666)

問72. 4

- 4. 外皮用薬の説明である(672)

問73. 2

- a. 健康食品では、毛髪に働きかける作用を標榜するような広告はできない
- d. 花粉症に対する効果を暗示しているため不適切な表現である(678)

問74. 2

また、毒薬又は劇薬を 14 歳未満の者その他安全な取り扱いに不安のある者に交付することは禁止されている(690)

問75. 1

1. 店舗販売業の許可では配置販売業を行うことはできない。新たに配置販売業の許可を取得することが必要となる(696)

問76. 1

1. 薬局はすべての医薬品を取り扱うことができる(708)

問77. 1

1. 配置販売業者に対して、期間を定めてその配置員による配置販売業の停止を命ずることができる(732)

問78. 2

2. 一般用医薬品では、一般の生活者が判断できる症状で示されている(744)

問79. 1

1. 都道府県知事が業務停止命令を行う(750)

問80. 1

日本薬局方とは薬事法第 41 条に基づき、医薬品の性状および品質の適正を図るために定められた医薬品の規格を記す書物である(762)

問81. 3

1. 2. 4. 平成 11 年に医薬品から移行した(768)

問82. 3

1. 書面を用いた情報提供が義務付けられている
2. 努力義務とされている
4. 医薬品ではない(774)

問83. 4

a. 薬局開設者又は医薬品の販売業の許可を受けた者
b. 店舗販売業の許可、配置販売業の許可、卸売販売業の許可の三種類(780)

問84. 2

b. 劇薬は鍵を施す必要はない
d. 店舗管理者が薬剤師である店舗販売業者又は営業所管理者が薬剤師である

卸売販売業者以外の医薬品販売業者は、開封して販売等してはならないとされている(828)

問85. 4

a.配置販売業者は特定販売を行うことはできない。

d.第一類医薬品、指定第二類医薬品、第二類医薬品、第三類医薬品および薬局製造販売医薬品の区分ごとに表示すること。(1358)

医薬品の適正使用・安全対策

問86. 4

健康被害を受けた本人または家族の給付請求を受けて、その健康被害が医薬品の副作用によるものかどうか、医薬品が適正に使用されたかどうかなど、医学的・薬学的判断を要する事項について、薬事・食品衛生審議会の諮問・答申を経て、厚生労働大臣が判定した結果に基づいて、医療費、障害年金、遺族年金等の各種給付が受けられる。(721)

問87. 4

1. 流産や早産を誘発するおそれがあるため、妊婦または妊娠していると思われる人は服用しないこととなっている

2. かぜ薬などで喘息が出たことのある人、15歳未満の小児は服用してはいけないこととなっている

3. 15歳未満の小児、妊娠または妊娠していると思われる人は服用してはいけないこととなっている(727)

問88. 3

1. 高血圧、甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病の診断を受けた人は服用しないこととされている

2. 心臓病の診断を受けた人は服用しないこととされている

4. 鶏卵によるアレルギー症状を起こしたことがある人は服用しないこととされている(733)

問89. 3

3. アスピリン、アスピリンアルミニウム、サザピリンの説明である(739)

問90. 3

a.日常生活に支障を来す程度のものについて報告が求められている

d.報告書を送付するのは厚生労働省である(745)

問91. 3

- a.「してはいけないこと」「相談すること」「その他の注意」から構成されている
- b.ゴシック体で記載されている(751)

問92. 3

3. ヒマシ油は激しい腹痛又は悪心・嘔吐の症状がある人は服用しないこと。一定期間使用しても症状の回っぜんが見られない場合は連用しないこととなっている(757)

問93. 2

副作用による健康被害が救済給付の対象となると思われた時には、医薬品の販売等に従事する専門家においては、健康被害を受けた購入者等に対して救済制度があることや、救済事業を運営する総合機構の相談窓口等を紹介し、相談を促す等の対応が期待される(763)

問94. 2

- 2. 一般購入者が購入し、自己の判断で使用するものである (769)

問95. 2

2. この一ヶ月間は、「国際麻薬乱用撲滅デー」を広く普及し、薬物乱用防止を一層推進するため、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動が実施されている(775)

問96. 2

- 2. 「製品の特徴」は必須記載ではない(781)

問97. 3

c.使用期限は、未開封状態で保管された場合に品質が保持される期限である(787)

問98. 4

- 1. 心臓に負担をかけ、心臓病を悪化させるおそれがあるため
- 2. 交感神経興奮作用により血圧を上昇させ、高血圧を悪化させるため
- 3. 肝臓でグリコーゲンを分解して血糖値を上昇させる作用があり、糖尿病の症状を悪化させるおそれがあるため(793)

問99. 4

- a.アナフィラキシーや喘息発作を誘発するおそれがある(799)

問100. 3

3. 厚生労働省からの指示で、製薬販売元の製薬企業等から直接配布される
(805)